

阿蘇海環境づくり協働会議 平成25年度取組実績

<取組方針>

地域住民と一体となった阿蘇海環境改善

「環境改善に向けた地域活動の継続と阿蘇海将来ビジョンの策定」

<活動内容>

1 清掃活動等の実施（地域団体等と協働実施）

●海藻類の回収

地域住民、海洋高校及び橋立中学校生徒が参加。
回収した海藻類は一部肥料にも活用。

- 日 程 府中：7月10日（水）
男山：7月14日（日）
- 場 所 府中：天橋海岸～大垣海岸
男山：岩滝海岸
- 参加者 府中：約82名
男山：約90名
- 回収量 府中：2tトラック3.5台分
男山：4tトラック2.5台分



●台風18号に伴う清掃活動

- 日 程 浜町：9月23日（祝）
文珠：9月25日（水）、27日（金）
府中：9月27日（金）
- 場 所 浜町：阿蘇シーサイドパーク
文珠：大天橋～橋立神社先
府中：天橋海岸～船越先
- 参加者 浜町：約150名
文珠：約160名（2日間）
府中：約100名



●カキ殻回収作業

文珠繁栄会主催。阿蘇海環境づくり協働会議協力。

- 日 時 11月21日（木）
- 場 所 大天橋、知恩寺先
- 参加者 約100名
- 回収量 約7トンのカキ殻を回収。



2 啓発活動等の実施

- 阿蘇海流域将来ビジョン（仮称）ワークショップ
阿蘇海流域将来イメージ案を作成するとともに、取組意識の醸成を図った。
 - 9月～12月に開催（全4回）。
 - 申込者数61名、延べ151名参加。

- 環境ポスター掲示による啓発活動
地域の小学生を対象に環境改善絵画コンクール実施。入賞作品をパネルやポスターにして、地域内で掲出するなど意識啓発も実施。
 - 応募数 宮津市：4小学校111点
与謝野町：7小学校234点



- 阿蘇海等環境改善啓発ポスターパネル掲示板の製作・設置
宮津高校建築科3年生が阿蘇海等環境改善啓発ポスターパネル掲示板を製作。宮津市須津の交差点（消防署前）に設置し上記パネルを掲出。
 - 企画コンペ（11月）
 - 設計～組み立て～設置（12～2月）



- 地元小学校での出前語らいの実施
 - 10月10日（木） 府中小学校5年生
 - 2月6日（木） 府中小学校4年生



3 農業者関係の取組

- 浅水代かき実演による啓発（府農業改良普及センター、与謝野町）
 - 5月9日（木） 「浅水代かき実演会」開催。

- 自然循環農業（京の豆っこ肥料）の推進（与謝野町）
豆腐工場からでたおからを作った「京の豆っこ肥料」を推進し、化学肥料から有機質肥料にすることで、与謝野町ブランドを確立するとともに、阿蘇海等環境に優しい農業の促進を図る。
 - 平成25年度作付面積129ha



4 水産事業者の取組

- 天橋立アサリの育成・販売（漁業者）
平成24年度までに開発した育成技術により、高品質のアサリを育成。阿蘇海の水質浄化にも貢献。



●マガキの販売開始（漁業者）

天橋立文珠水路付近に堆積するマガキは、周辺地域での悪臭発生や航路の阻害要因として懸念されている。商業利用することによりアサリ等の生育環境の改善をはじめ、阿蘇海環境改善を図る。

○3月から販売開始。



5 各種研究・試験等

●アマモ場造成研究（海洋高校等）

アマモ場復活による阿蘇海の環境改善に取り組む。アマモ苗の定植と同時に、宮津小学校児童を対象に環境学習を実施。

○5月～

●海藻肥料化試験（海洋高校、水産事務所、海洋センター、与謝野町）

8月にオゴノリ科の海藻を採取（1,080kg）。与謝野町で乾燥させ肥料化。橋立中学校の環境学習（大根栽培）において使用。施肥の有無で肥料効果を測定。

○8月～1月

●悪臭の原因「アオサ」を活用した米づくり（NPO）

夏季に悪臭発生の原因となるアオサを回収し、水稻栽培に活用。休耕田を用い、田植え前にアオサをすきこんだ結果、十分な収量が得られた。



●キレートマリン散布実験（宮津市）

京都府立大学ACTR（地域貢献型特別研究）として昨年度に引き続き実施。

6 その他

●阿蘇海シーブルー事業（府土木事務所）

平成25年度までに17.89haの覆砂工を実施

○事業期間：H5～30／全体計画：35ha

●EM菌投入による全小中学校プール清掃（与謝野町）

●下水道事業、浄化槽設置補助（宮津市、与謝野町）